

第3次益田圏域定住自立圏共生ビジョン（案）に係るパブリックコメントに寄せられた意見等に対する考え方

項目	寄せられた意見等	意見等に対する考え方
SDG s について	<p>「SDG s の理念を踏まえた取り組みの推進」として25の具体的取り組みに対し、関連するSDG s を掲げているが、目標5の「ジェンダー平等」が全く登場しないのは、「定住」を進めるうえで問題だ。</p> <p>若者の東京一極集中が進むなかでも女性の転入が多いのは、東京が若い女性にとって活躍しやすいことが挙げられている。男女の役割分担が固定的など古い体質が女性を地方から遠ざけ、そのため地方では男女比がアンバランスとなって結婚難を招き、結果、人口減少に拍車がかかり、地域の持続可能性の低下を招いていると指摘されている。</p> <p>「ジェンダー平等」の目標は「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」。ターゲットは「全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する」「女性及び女児に対する、公共・私的空間における暴力を排除する」「政治、経済、公共分野での意思決定において、女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する」など9項目。「ジェンダー平等」の目標達成は、特に若い女性の定住に必要なことがお分かりだと思う。</p> <p>医療分野、産業振興、防災、交流・移住促進、人材育成などの具体的取り組みにおいて目標5の「ジェンダー平等」を取り入れることを検討していただきたい。</p>	<p>「第3次益田圏域定住自立圏共生ビジョン」の策定に当たり追加した「SDG s の理念を踏まえた取組の推進」については、社会・経済・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものとして17の目標を掲げており、その中に目標5「ジェンダー平等」についても含まれています。</p> <p>「ジェンダー平等」については、重要な課題と認識しており、特に人権・同和研修等を通じて、その実現に向けて取り組んでいく観点から、該当箇所に目標5のSDG s アイコンを追加することといたします（P. 43）。</p>
ビジョン懇談会委員について	<p>ビジョン作成に関わったビジョン懇談会委員14人全員が男性であることも益田市などの男女共同参画条例に抵触する。少なくとも5,6人は女性の委員で構成すべきではないか。充て職とはいえ、各団体には女性がおられるはずです。</p>	<p>懇談会委員全員が男性であることが即ち「益田市男女共同参画条例」に抵触するものではありませんが、益田市においては「第4次益田市男女共同参画計画」にて、審議会等への女性参画率の目標を40%とし、積極的に女性の参画を拡大することを掲げているところです。</p> <p>今期委員を選任する際に当初は女性の参画を見込んでいましたが、推薦団体内での人事異動等もあり、現状では0人となっています。</p> <p>今期委員の任期は令和5年3月31日までとなっていますが、審議会等への女性の参画については、重要な課題と認識しており、来期委員を選任する際は女性の参画率が高まるよう、委員構成について検討してまいります。</p>